

# 農業

令和3年7月号  
会誌 No. 1679



## 目次

### 巻頭言

農村政策の再構築……………林田 直樹 3

### 論壇

施設園芸と作型分化……………吉岡 宏 4

### 地域セミナー 秋田

次世代の秋田県農業と地域を拓く……………川崎 訓昭 6  
—攻めか？守りか？—

### 寄稿

温暖化が日本の農業に与える影響と適応策……………杉浦 俊彦 16

### 研究の最前線

干し柿「市田柿」の機械乾燥技術実用化および  
長期貯蔵技術の開発……………滝沢 潤 27

### 農業・農村の現場から

被災農産物マッチングで新たな6次産業化のかたちづくり…郡司裕美子 38  
—農産物ロスを減らすための備え—

### 世界の農業は今

高度経済成長期の中国農業の現状と課題……………寶劍 久俊 45

**私の経営と志**

法人化から始まる家族農業からの脱皮……………池野 翔吾 51  
—就職したくなる会社を目指して—

**農大生の研究**

植物共生微生物叢とヤムイモ生産……………木原 駿太 53

**食を楽しむ**

味噌ともやし……………小川 聖子 57

**統計情報**

2019年市町村別農業産出額（推計）…………… 58

**農政情報**

…………… 59

編集部から…………… 59

大日本農会だより…………… 60

会誌「農業」に関するアンケート

**表紙写真説明**

**淡路島のタマネギ吊り小屋作業（兵庫県南あわじ市）**

兵庫県南あわじ市は130年以上の歴史を持つ国内有数のタマネギ産地で、生産量は約83,000 tです。

淡路島は瀬戸内という「水に恵まれない場所」であったため、ため池や水路、井戸などを組み合わせた効率的な灌漑システムが発達し、水利組織「田主」がそれらを守っています。

また、農地として利用できる土地が少ない「島という環境」で、水稻・タマネギの二毛作栽培や、稲わらを乳牛の飼料として活用し、その牛糞を堆肥化し土壌改良を行う生産循環システムが確立されました。

6月に収穫されたタマネギは、四方を海に囲まれ自然の風が多方向から吹く地形を生かした「タマネギ小屋」で8月頃まで乾燥・貯蔵します。「タマネギ小屋」でゆっくり自然乾燥させたタマネギは、機能成分（ケルセチン）が増え、また糖含量も増えて甘くなります。

2021年2月には、これらの農業システムが日本農業遺産に認定されました。

（写真及び文：兵庫県淡路県民局南淡路農業改良普及センター 有本 律子）